

自主学習ノートの書き方（例）

自主学習ノートの書き方です。参考にしてみてください。



吉野川市立飯尾敷地小学校

自主学習 ノートの書き方

1. 学習内容を決めよう。
2. 日づけを書こう。
3. 「めあて」を立てよう。
4. 開始時こくを書こう。
5. 学習のまとめをしよう。
6. 学習のふり返りをしよう。
7. 終了時こくを書こう。

◎教科書や授業のノート、ドリルやテストを見返して、自分の苦手と得意を知ろう。
◎漢字や計算の問題を解いたときは、丸付けをしよう。
◎まちがえた問題は、なぜまちがえたのかかわかるように、途中の計算や筆算、答えを消さずに残しておこう。
◎まちがえた問題は、解けるようになるまでくり返し練習しよう。

算数

学習した時間 6:00~6:30 (めあて) 計りを使って、学習のたしめをしよう。

日づけ 12/4 (月)

大事なこと 色を使う

めあて 答え合わせをする

ポイントを書きこむ

考えたあとを残す

まとめ

ふり返し

③ 前の問題がうまくできてよかった。筆算は、より上りが足し算がええようにしたい。

国語

学習した時間 6:00~6:30 (めあて) テストでまちがえた漢字を書こう。

日づけ 12/4

大事なこと 色を使う

めあて

ふり返し

くり返し練習する

社会

めあて ④工業がさかんな地域についてまとめよう。18:00~18:20

日づけ

気がついたことや考えたことをふきだして書こう

絵や図、表などを使って、分かりやすく整理しよう

まとめ

大事なこと 色を使う

④関東地方の南部から、九州地方北部にかけての太平洋に帯のよう広がる工業の盛んなところを、太平洋ベルトという。
く発達した理由
船を使って原料や燃料を輸入したり、工業製品を輸出したりするのに便利だから。

算数

めあて ④分数と小数、整数の関係をまとめる。18:15~18:40

日づけ

大事なこと 色を使う

めあて

線分図や関係図で考える

ふり返し

筆算はのこす

《参考》

東みよし町立小学校学びの手引き 一第2版一より